

# 板橋区立赤塚第二中学校 職員会議 研究部より

令和8年4月6日



# 校内研修の意義

(教員)

第九条 法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず**研究**と**修養**に励み、その職責の遂行に努めなければならない。

# 校内研修の意義

(研修)

第二十一条 教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず**研究**と**修養**に努めなければならない。

(研修の機会)

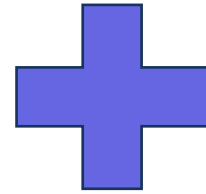
第二十二条 教育公務員には、研修を受ける機会が与えられなければならない。

2 教員は、授業に支障のない限り、本属長の承認を受けて、勤務場所を離れて研修を行うことができる。

3 教育公務員は、任命権者(第二十条第一項第一号に掲げる者については、同号に定める市町村の教育委員会。以下この章において同じ。)の定めるところにより、現職のままで、長期にわたる研修を受けることができる。

# 校内研修の意義

研究

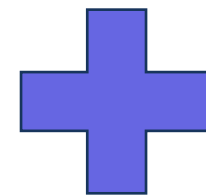


修養

自由な発想と研究意欲による知的創造活動(文部科学省)

精神を練磨し、優れた人格を形成するよう努めること(広辞苑)

self-cultivation, self-discipline, self-improvement



生徒の課題を的確に把握し、学力向上を図ることも重要

# 校内研修の意義

## 「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師の学びの姿

### 1. 学び続ける教師

教師は学び続ける存在であることが強く期待されている

時代の変化が大きくなる中で常に学び続けていくことが必要

主体的に学び続ける教師の姿は、児童生徒にとっても重要なロールモデル

### 2. 教師の継続的な学びを支える主体的な姿勢

教師の主体的な姿勢

一人一人の教師が安心して学びに打ち込める環境の構築

# 校内研修の意義

## 「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師の学びの姿

### 3. 個別最適な教師の学び、協働的な教師の学び

個別最適な教師の学び / 協働的な教師の学び

### 4. 適切な目標設定・現状把握、積極的な「対話」

具体的な目標の達成に向けた体系的・計画的な実施

# 校内研修の意義

## 「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師の学びの姿

5. 質の高い有意義な学習コンテンツ

6. 学びの成果の可視化と組織的共有

7. デジタル技術の活用

# 校内研修の意義

NITS戦略（ミッション） ～新たな学びへ～

## 研修観の転換

- ・教師の主体性の尊重
- ・「現場の経験」を重視した学び
- ・「個別最適な学び」
- ・「協働的な学び」

NITSのミッション

教師の学び（研修）

相似形

往還

## 学習観の転換

- ・子供を主語にした学校教育
- ・生きて働く知識・技能の習得等
- ・「個別最適な学び」
- ・「協働的な学び」

子供の学び

「主体的・対話的で深い学び」の実現

「現場の経験」  
を重視した学び

ベテラン  
中堅  
若手  
みんなの経験を  
語り合える場へ

# 校内研修の意義

「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師の学びにおける校内研修の役割 抜粋

文部科学省総合教育政策局教育人材政策課



①教師の資質の向上にあたって  
「現場の経験」を重視した学び＋任命権者や様々な主体が行う  
校外研修とが最適に組み合わせること

②お互いの授業を参観し合い、批判し合うことも含めて、  
「経験を振り返ることを基礎とした学び」＋「他者との対話から  
得られる学び」を蓄積し、組織力を高めていくこと  
(教科等を越えた教師同士の学び合いの機会を設定)

# 校内研修の意義

ドナルド・ショーン (アメリカ合衆国の哲学者。元マサチューセッツ工科大学都市工学科教授。)

**実践する専門職**は、実践的な問題に直面したとき、それまでの経験を振り返り、自分の中にある「わざ」を総動員して問題に対応しようとする。そして、それを改めて振り返り、自分なりの教訓を導き出す。このような、実践について振り返ったり、省察を繰り返したりすることで、自ら学び、解決策を身に付け、成長していく、「**省察的実践家**」モデルを提唱。

省察が深まる場

